

寄贈品コーナー

展示替一覧表

回	期 間	テ ー マ	展 示 資 料	点 数
第29回	54年6・1~7・30	二見利節遺作	油彩画 K-8・K-13・K-14・K-16 K-17・K-127・K-134・年譜・写真	9点
第30回	54年8・1~9・30	二見利節遺作	パステル画 P-58・P-59・P-63 P-65・P-66・P-67・P-70 年譜・写真	9点
第31回	54年10・1~11・30	サマーセミナー展	写真パネル・イラストマップ・感想文 はがき	51点
第32回	54年12・1~ 55年 1・30	二見利節遺作	油彩画 PP-37・PP-38・PP-39・PP-40 ・PP-42・PP-43・PP-56・年譜・写真	9点
第33回	55年 2・1~3・30	二見利節遺作	油彩画 PP-46・PP-50・PP-52・ PP-69・PP-81・PP-87・PP-93 年譜・写真	9点

開館以後4年を経て展示替33回、展示資料1243点にのぼる。寄贈された資料の展示をとおして、資料収集の協力呼びかけを行ってきた。展示替は前年までの各分野輪番で担当する方法はとらず、美術資料の紹介を主に行った。

寄贈絵画資料のうち二見利節遺作は354点あり、公開されたものは昭和52年特別展で52点を出品したにすぎず、多くは未公開のままであった。

このコーナーでの絵画類の展示数は、壁面長11.6mに対し、30号大(90×72cm)で7~8点が

適当である。継続的に展示替をし、できる限り多くの資料を公開する方針で、2ヶ月毎に1回の展示替を行った。

またこのコーナーの運営として、館普及行事のPRを目的として、館行事サマーセミナー展を行った。寄贈品の紹介に限らず体験学習の成果などの発表の場としても弾力的に運用してゆくことにしている。展示期間、展示資料の概略は下記の表のようになる。

